



や げん 薬 研



※「薬研」とは、昔本院で漢方薬を調剤する際に、薬種を砕いたり、粉末にするために使用した器具で、正面玄関に飾ってあります。
※ 当院は①日本医療機能評価機構②人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。

大林誠一名誉会長追悼

平成30年4月8日に当院名誉会長 大林誠一先生が天国に召されました。常に傍にいて、私たちを助けてくださった先生のお訃報にまだ信じられない気持ちであります。

誠一先生は昭和34年京都大学の医学部をご卒業され、関連病院を回られた後、京都大学大学院で学位を取得、その後香川県に戻られ、香川県立中央病院に勤務後、昭和41年にキナシ大林病院に入職、以後52年間鬼無の地で医療を展開されておりました。

それまで小さかった医院を腎臓病の最先端の病院にしたいという思いから昭和43年に四国で初めて人工透析を開始し、その後腹膜透析や腎移植もできる病院へと変革をいたしました。これらは誠一先生のご尽力の賜物であることは、皆様ご承知のことだと思います。

83年間の人生の大半をこのキナシ大林病院とともに駆け抜けてきたといっても過言ではないでしょう。とても優しく、包容力があり私たちの目線で話をしていただける、そんな先生でした。医師としての力量は私が申し上げるまでもありませんが、先生にはプラスアルファで何か不思議な力がありました。“誠一先生と話しているだけで病状が良くなる”とか“誠一先生が言っているから間違いない”など誠一先生でないにだめだという患者さんが数多くおられました。人と話すときの独特な間合い、笑顔、声のトーン、人柄、思いやり…等々、人を引き付ける要素をたぶんに持ち合わせてお

り、これは決して他の医師には真似することのできないと思います。

また、患者さんや職員を大事にされる先生であり、内科医であるにもかかわらず、ご自分の担当している患者さんが手術をされる時は、手術室に来てその窓からずっと手術の様子を見られておりました。若い職員が入職した際には必ずキナシ大林病院の伝統や歴史について熱く語られていたことも思い出されます。海外旅行もお好きで、帰ってこられるたびに職員の方々に土産を配られ、私も先生から楽しいお土産をたくさんいただきました。

いつも私達の輪の中心におられる、そんな先生でした。大林誠一先生、あなたが抜けられた病院の穴は大変大きなものです。この大きな穴を埋めるには相当な時間がかかるでしょう。ひよっとしたら埋めることはできないかもしれません。

でも先生、ご安心ください。職員一同は先生が愛し、育んだこのキナシ大林病院をいつまでもこの地でなくてはならない病院として守り、発展させていきますことをここにお誓い申し上げます。

なにとぞ安らかに眠りますようお願い申し上げます。謹んで追悼の言葉といたします。



院長
まなべ たけし
真鍋 健史



6月病にかかりませんでしたか？

かわかみ ゆか
理事長 川上 由佳



4月8日、大林誠一先生が亡くなりました。昨年まではお元気で、診療もされ、卓球にも参加されていたのですが・・・亡くなった日は、ちょうど卓球の社会人リーグの日でした。元気であれば大会に出場されていたのではないのでしょうか。今年は、当院で透析を始めて50年の、節目ともいえる年です。かけがえのない人を失いましたが、元気を出してこれからも皆で透析医療を支えて行きたいと思っております。

最近、6月病という言葉を目にするようになりました。5月病なら聞いたことがあるけれど、と思いついて検索してみると、両者はほぼ同じものでありました。4月から環境が大きく変わった新社会人や新入生がGW明けに無気力状態に陥ることを5月病といいますが、近年社会人ではひと月遅い6月に同様の症状を訴える人が多いのだそう。新人研修が以前より長く、部署に配属される時期が遅くなったためといわれています。新人のみならずベテランもかかる可能性あり要注意とのこと。皆さん、無事ですか？体調管理気をつけましょう。

病院の理念

- 患者さん中心の医療
- 高水準の医療の提供
- 地域の健康を支援する病院
- 働きがいのある職場づくり

患者・家族の皆様の権利

- 良質の治療を受け、安全が確保される権利
- 自己決定権および選択の自由の権利
- 尊厳を確保する権利
- 個人情報機密保持と医療情報の開示を受ける権利
- 健康教育を受ける権利



大林誠一先生を偲んで

父・大林誠一の思い出

当院は代々腎臓病治療を得意とすることで有名でした。

先代の祖父、達三が復員後、大林和漢洋医院を大林医院と近代化し、薬研と薬箱を担いで毎日往診していました。

父は、往時夜になると尿毒症の末期で入院していた患者さんの苦しそうな呼吸の様子が聞こえて来るのが辛かったと残っています。

祖父は51歳で急逝し、まだ父は京大生だったため遺された医院と祖母、叔母達を幸叔父が9年間守ってくれていました。博士課程を修了して帰郷しました。京都の自宅を売却した資金などを元手に昭和41年にキナシ大林病院を幸叔父と二人で開院し、50年前の昭和43年に四国で初めてとなる透析治療を開始しました。初めは岡山の方で、次は大阪、愛媛の方でした。

平成元年には腎移植も開始しました。父はキナシ大林病院の大黒柱として52年間、妹たちを養い、献身的に、また常に最新の透析治療を患者さんに提供する事に腐心していました。当院が病院として発展することが出来たのは父のおかげでありました。日々医学誌を読みあさり、長年の蔵書の重みに耐えかねてマンションの部屋の床が下がり、ある日ふすまがスーッと自然に倒れたことを覚えています。

学会以外には高松を出る事もなく、ひたすらに仕事一筋にやって来た父ですが、その甲斐あって現在は西日本では最も長い、透析歴が48年目を迎えた患者さんも通院中です。80歳を過ぎてても熱心に学会、研究会に出かけて行き、祖父のように、病に倒れるその日まで毎日休まず診療を行っていました。ゴルフに卓球、モンローと、モーツァルトを愛し、病める人を慈しむ父でした。



透析センター長
おおばやし ひろあき
大林 弘明

大林誠一名誉会長追悼

CKD患者さんに捧げた素晴らしい人生に感謝し敬意を表します。

四国初の人工透析開始から50年。腎臓の研究と実践、継続の賜物。

人生50年を83歳までも伸ばされた生き方、真似ができません。



名誉院長
たにもと くにひこ
谷本 邦彦



卓球台に片足が上がる凄
いスマッシュの腕前。

普賢岳噴火の年、卓球ジャ
パンメディカル大会で団体戦バ
トル・エンジョイ同時制覇は素
晴らしい思い出。



何も言わずに突然
…あの世に!!

その元気で我々を
見守って下さい。

ご冥福をお祈りし
ます。

▲平成6年1月30日撮影

(前列右端 故大林誠一先生
前列右から2番目 故大林 幸先生
前列左から2番目 筆者)

大林誠一先生へ

私が大学生時代に先生の書齋へお邪魔した時には、うず高く積まれた本の中で、温かいうどんをご馳走してくれましたね。私が研修医としてキナシ大林病院で修練をした時に、いま



内科 腎臓病センター長
きなし まこと
鬼無 信

では考えられないような太い胃カメラでやり方を教えてくださいましたね。Sharp先生がMCTDという新たな膠原病概念を最初に発表されたところが、グリーンジャーナル(米国の代表的な内科学雑誌)の52巻である、という細かいところまで先生はご存知でしたね。グランドカンントリーでは、ロッカーが一緒だったためか、ゴルフ場の方に鬼無と大林をよく間違えられました。そのままプレイしましたね。東京の学会では会場を抜け出し、何度も、丸善日本橋店で文房具を一緒に買いましたね。私は誠一先生にひとかたならぬお世話になりながらお礼をあまり言ったことはありません。生涯現役であった大林誠一先生をいつまでも尊敬し、先生が生前、私に言われた「一蓮托生」をお別れの言葉として、ご冥福をお祈りします。

大林誠一名誉会長へのお別れの言葉

大林誠一先生は昭和34年に京都大学医学部を卒業し大学院で医学博士学位を受領された後、昭和41年10月にキナシ大林病院副院長として故郷に帰られました。先生は岡山大学第三内科の全面的な支援を受けて250年以上の歴史を持つキナシ大林病院に腎・膠原病研究所を設置され、腎臓疾患の研究と治療のメッカとしての地位と名声を確立されました。病院をさらに発展させるためいち早く血液透析医療を導入され、昭和43年7月に四国で初めての血液透析が本院で行われました。当時の血液透析は、想像できないと思いますが血液の回収や回路の消毒などは全て人の手で行われ、わずかのスタッフと一緒に頑張っておられた姿が思い出されます。このような先生の透析に対する熱い情熱と行動力により、四国で1、2を争う血液透析病院としての今日のキナシ大林病院があることを忘れてはなりません。



香川大学名誉教授
いしだ としひこ
石田 俊彦

今後、私たちは、先生が残されたご功績を糧として、力を結集し病院の発展をとうして地域医療に貢献しますことをお誓い申し上げます。

大林誠一先生、本当に長い間お疲れ様でした。どうぞ安らかに眠りください。

大林誠一先生と透析

大林誠一先生は、昭和43年7月腎臓病の専門病院であるキナシ大林病院で、四国で初めての透析を開始して以来、透析医療に携わってこられたと聞いています。当時は透析機器も手探りの状態で医療スタッフが透析中、つきっきりで対応し、患者も、貧血・血圧低下・吐き気に苦しみ命がけの透析だったと、誠一先生からお聞きしました。

それから50年後の現在は、医療の技術・機械も進歩し、透析患者は当時より楽に透析を受けられるようになりました。これも、ひとえに誠一先生のお蔭と深く感謝する所であり、将来はIPS細胞を利用して人工腎臓が作られ透析が必要なくなるかもしれないと話されていた誠一先生の顔が浮かんできます。

また、誠一先生の診察は、温かく、優しい語りかけで、安心して話を聞くことができました。本当にありがとうございました。



そら豆会 前会長
なんぼら よしあき
南原 義秋

大林誠一名誉会長へ 精一杯の感謝をこめて

今年、透析開始50周年を迎えます。このことは、ひとえに大林誠一先生のご尽力があったからだと思えます。

患者さんへの誠意ある診察、その人に合った優しい透析、最新の透析医療を提供するため常に学ぶ姿勢、尊敬しています。まさに、「患者さん中心の医療」と「高水準の医療の提供」をされていました。また、私達スタッフにも、いつも笑顔で声をかけてくださり、どんなに忙しい時でも丁寧に対応していただいたこと、感謝しています。大林誠一先生から透析医療について学んだことを糧に、今後の透析看護に活かしたいと思えます。

もう指導していただけないと思うと、悲しみ、淋しさが込みあげてきますが、先生の志を引き継ぎ、これからは大林弘明先生を中心に、安心・安全で最新の透析医療が提供できるよう、日々研磨していこうと思えます。

安心して見守っていて下さい。本当にありがとうございました。ご冥福をお祈り致します。

先生、天国で大好きなマリリン・モンローに逢えましたか？



透析師長
まつなが みよこ
松永 美代子



ご馳走様でした、会長

会長といえば、とにかく怒らない、自分を大きく見せようとは決してしない、そして、まず笑顔が思い浮かびます。新しい学説に非常に興味があり、学会誌はおそらく全て目を通されていたのではないのでしょうか。透析患者さんに対するビタミンDの多面的な効果について、質問された事を覚えています。まだ本当にホットな話題の頃でした。そういえば、私が腹膜透析研究会の総会で、優秀演題の表彰を受けたことがあります（現在に至るまで、唯一の表彰です）。学会から帰って間もなく会長からも表彰状をいただきました。私（会長）は嬉しい、という内容の表彰状でした。多分何人かの方々が、同じように表彰状を頂いた記憶があるのではないのでしょうか。褒められる事はなんて嬉しいのだろう、と今でも思います。また学会もほとんど出席されており、会長主催の会食も催されました。大林弘明先生と初めて会ったのも、この学会中の会食の時でしたね。会長ご馳走様でした。



鴨島川島クリニック 院長
かわはら かずひこ
川原 和彦

大林誠一先生の思い出

キナシ大林病院といえば、やはり、院長の大林 幸先生、副院長の大林誠一先生だろう。二人が絶妙のコンビであった。いつも二人一緒に、幸先生が話し、誠一先生は隣で黙って聞いていた。幸先生は臨床家であり、誠一先生は学術派であった。幸先生の臨床的直感には、いつも舌を巻いていた。幸先生の長年の経験と勘には驚嘆すべきものがあつた。誠一先生は、勉強熱心で大抵なんでも知っていた。幸先生が決断し、誠一先生が従っていた。二人はお互いに、お互いを気づかい、配慮することを忘れなかった。幸先生は、経営者であろうとし、誠一先生は医学者であろうとした。

1989年4月29日のキナシ大林病院第1例目の腎臓移植が終わった後、5月の連休明けの日曜日に、誠一先生は僕たち家族をご自宅に招待してくださった。奥様の手料理をご馳走になった。1000坪ほどもあるという豪邸であった。僕たち家族は、広い芝生の庭と広い応接間とご自慢のオーディオと美味しい手料理に圧倒されていた。瀬戸大橋の見えるフランス料理店に、誠一先生ご夫婦に連れて行っていたこともあった。先生の同級生である宇和島市立病院の院長であった近藤先生ご夫妻とご一緒に金毘羅歌舞伎に連れて行っていたこともあった。私にとって初めての歌舞伎であった。

20数年も前の記憶が次々とよみがえります。卓球のあとの汗にぬれた誠一先生のさわやかな笑顔も…。

大林誠一先生のご冥福をお祈り申し上げます。



あきやまクリニック 理事長
あきやま かずみ
秋山 和己



オクトパーツ

看護部

大腸がん検診について

7月から高松市では特定健康診査と同時に大腸がん検診も始まります。

日本人の死亡原因にがんは上位をしめ、大腸がん男性3位、女性1位と高くなっています。

検診では2回分の検便で便潜血を調べます。陽性反応が出たら次に大腸の中に直接カメラを挿入し、大腸がん、大腸炎、ポリープの有無を調べます。よく「痔があるから」と言われる方がいますが、一度も大腸カメラを受けたことがない方は自己判断せずに大腸カメラを受けて下さい。早期なら内視鏡で切除、治療が可能です。

検診は7月から10月までです。まだ期間があるからと遅れて受ける方もおられますが期限が近づくで大腸カメラも混み合います。

早めの検診、早期治療をお勧めします。分からない事があれば気軽に中央処置室の看護師にご相談下さい。



●看護師
はまもと
濱元 あゆみ

透析センター

透析開始50周年

キナシ大林病院の透析室は、2018年7月7日で透析開始から50周年の節目を迎えることとなります。

13年前、透析室がこちらの建物に移ってから、透析センターとして、以前よりも大きく、広く、明るく、使いやすくなっています。

私がこの病院にお世話になってから10年くらいですが、この間だけでもいろいろなことがありました。透析の機械が新しくなり、on-line HDFが開始となりました。また、画期的な新薬(レグパラ、パーサピブ、ミルセラなど)も発売され治療の選択肢が広がっています。スタッフも常に新しい試みを始めており、最近ではフットケアに力をいれています。

また50周年にあたっての、記念誌も刊行される予定ですので楽しみにしてください。

大林誠一先生が大切に育ててこられた透析室を大林弘明先生がさらに大きく育ててゆかれる事と思います。そのお手伝いをスタッフとともども頑張っていきたいと思っています。



●内科医師
いわどう ひろみ
岩藤 広美

薬剤科

糖尿病とインスリン

「インスリン」という薬を聞いたことがありますか?糖尿病の薬の中で、もっとも有名なものかと思えます。インスリンは膵臓からでるホルモンです。

食事をすると、糖分が吸収され血液中に取り込まれます。糖分は脳・筋肉・肝臓など、さまざまな臓器でエネルギーとして使われるのですが、血液中から臓器に糖分を受け渡すときに必要になるのがインスリンなのです。

インスリンが出にくくなったり、働きが悪くなったりすることで、血糖値が高い状態が続く病気を糖尿病といいます。血糖値が高い状態を放置すると、血管が痛んで様々な合併症の原因になります。

以前はインスリンに対して、「一生打たなければならない、家で注射するなんて大変」などネガティブな印象がありました。現在は、インスリンの出しすぎで疲れた膵臓を休ませる、という意味合いでインスリンを一時的に導入する方法もあります。また、インスリン自己注射の製剤も進出し、使いやすく簡便になっています。



●薬剤師
わきかわ まみ
脇川 真末

医事課

乳がん検診について

7月より乳がん検診が始まります。完全予約制となっており、ご予約は予約受付窓口またはフリーダイヤルにて承ります。

実施日時/月(11:00)
火(10:00、10:30、11:00)
土(10:30、10:45、11:00)

※各1名ずつの予約枠となっています。
※予約は、検査の予約時間で診察の予約時間ではありません。

持参物/受診券、保険証、自己負担金免除(該当者のみ)
ご予約・お問い合わせ/0120-88-0884

検診期間/平成30年7月2日から平成31年2月28日

- マンモグラフィを受けられない方
- ①妊娠中または妊娠の可能性がある方
 - ②授乳中(断乳後6ヶ月)の方
 - ③豊胸術をしている方
 - ④ペースメーカーを入れている方
 - ⑤VPシャントを挿入している方

※検診期間終了間近になりますと混み合うことが予想されますので、受診券が届きましたら早めのご予約をお願いします。



●事務員
くわじま ひとみ
桑島 仁美



放射線科

あなたの骨は 大丈夫ですか？



●放射線技師
くろだ かおり
黒田 佳織

骨密度測定とは、骨の中にあるカルシウム・マグネシウムなどのミネラル成分が、どのくらいの量あるのかを測定するものです。ミネラル成分が不足してくると、骨がもろくなり、骨折しやすくなります。骨密度測定は、骨粗鬆症や骨折のリスクを判定するのに役立ちます。当施設では、DEXA法と呼ばれる方法で骨密度測定を行っています。この方法は、2種類の異なるX線を当てて、骨と軟部組織の吸収率の差で骨密度を測定する方法です。測定誤差が少なく、測定時間が短く、放射線の被ばくも少ないという利点があります。測定部位は、腰椎と大腿骨です。腰椎は、骨代謝が盛んな海綿骨の情報を多く含んでいるため、他の部位で測定を行うより骨量の変化を顕著にとらえる事ができるからです。骨粗鬆症は誰もがかかりうる可能性があります。日常生活を見直したり、骨折を予防するためにも骨密度を一度測定してみたいはいかがですか？

検査科

動脈硬化の 進み具合がわかる検査



●臨床検査技師
みやもと みちよ
宮本 道代

動脈硬化は、血管の壁が厚くなったりと硬くなったりして、進行すると狭心症や心筋梗塞、脳梗塞や脳出血、また末梢動脈疾患などの重篤な病気になる危険性が高くなります。

動脈硬化の進み具合がわかる検査として、ABI・CAVIと頸動脈エコーなどがあります。

ABI・CAVI検査は手足の血圧と脈波を測定することで、血管の詰まり具合(ABI)と血管の硬さ(CAVI)がわかります。またCAVIは同じ性別・同年齢の健康な方の平均値と比べることで血管年齢がわかります。

頸動脈エコー検査は、首の動脈の壁の厚さをエコーで観察することで、全身の動脈硬化の程度を推測することができます。また脳梗塞などの予測検査として有用とされています。

重篤な病気が起こらないように、血管の状態をチェックしましょう。

リハビリテーション科

介護保険被保険者証を 確認させていただきます



●理学療法士
みなみた よしたか
南田 義孝

介護保険被保険者証をお持ちの方は、ご提示をお願いするようになりました。「なぜ病院で介護保険の情報が必要なの?」と疑問に思われる方もいらっしゃるかもしれません。

国は、国民のニーズに見合ったサービスが切れ目なく、かつ効率的に提供されるように、生活支援、病気の予防、介護予防等といった分野で、医療および介護の連携を重要視しています。医療保険で提供させて頂いている病院のリハビリテーション終了後に、介護保険のリハビリテーションに引き継ぐことも少なくありません。その時に、引継ぎを滞りなく行うために、患者さんの介護保険情報が重要になってきます。

今後、リハビリを受けていらっしゃる患者さんにはスタッフから介護保険被保険者証のコピーを取らせて頂くようお声掛けさせていただきます。ご理解、ご協力をお願いします。

人間ドック

頭部MRI・MRA検査を 受けてみませんか



●事務員
くした ゆき
串田 由紀

人間ドックコースの1日ドック・2日ドックに「頭部MRI・MRA検査」をオプションで追加することができます。脳血管疾患や脳卒中と呼ばれる病気に不安を感じている方は多いでしょう。また、ご家族や親族が脳梗塞、脳出血、くも膜下出血を患ったことがあるという方なら、なおさらそのリスクが気になると思います。1日ドック・2日ドックの検査は、高血圧、脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病のきざしを見つけることを重視しているため、脳を調べる場合はオプションで追加するか、脳ドックのコースを受けていただくようになります。普段から頭痛やめまい、しびれといった自覚症状のある方は脳神経外科などを受診すべきですが、50歳以上で特に症状はないけれども脳卒中などのリスクが気になるという方は定期的にこの検査を受けて、脳の状態をチェックしておくことをおすすめします。

栄養指導件数アップに向けて

栄養科 科長 渡邊 美恵子
わたなべ みえこ

『栄養科』は診療技術部門に所属し、栄養指導・チーム医療等の業務を常勤管理栄養士3名で運営しています。2016年～栄養科の業務「栄養部門」と「給食部門」を分離し、「給食部門」を業務委託することになりました。栄養部門の取り組みとして、栄養指導件数アップを目標にしました。栄養食事指導は医師の指示に基づき栄養指導を行います。入院・外来ともに指導件数が少ない現状です。患者さんに食事内容について十分説明する機会が少なく、栄養指導の依頼は待っていても自動的にこないとわかりました。指導件数アップのために、PDCAサイクルを用いての取り組みをしました。PDCAとは…①PLAN(計画をたてる)②DO(実行する)③CHECK(評価する)④ACTION(改善

する)というサイクルをぐるぐる回しながら確認する評価方法です。今後も継続して取り組んでいこうと思います。当院では入院時・外来時に、管理栄養士が栄養食事指導を行っています。予約制ですが、飛び入りも対応させていただきます。病院スタッフにお気軽にご相談ください。各疾患の教室も行っていきますのでぜひご参加ください。



方法：改善への取り組み	
① PLAN(計画) → 栄養食事指導件数の増加	② DO(実行) ↓ 栄養指導依頼システムの変更 食事オーダー締め切り時間の厳決 医師に対して事前に指導依頼のお願い 連携医師に指導依頼のヒアリング 各疾患別栄養指導で連携
④ ACTION(改善) ↑ 栄養食事指導件数増加が 2015年度(平成27年度) 175件 2016年度(平成28年度) 542件 2017年度(平成29年度) 581件 に増加	③ CHECK(評価) ← 栄養科業績 目標の達成

祝叙勲!! 阿部二郎元診療技術部長 瑞宝双光章 受章

平成30年5月、放射線科の阿部二郎元診療技術部長が天皇陛下より春の叙勲：瑞宝双光章を受章されました。キナシ大林病院で長年、診療放射線技師として県民の保健衛生や地域医療の向上に努めたことが高く評価され受章となりました。

阿部二郎元診療技術部長は、昭和23年11月14日に高松市で生まれ、昭和46年4月に岡山大学医学部付属・診療放射線技師学校を卒業後、キナシ大林病院に赴任しました。以来今日まで診療放射線技師として第一線で活躍し、香川県診療放射線技師会の理事として尽力されました。平成22年5月には香川県知事より憲法記念日知事表彰を授与されました。平成20年4月には、薬剤科・検査科・放射線科・リハビリテーション科・CE科・栄養科の部門を統合管理する初代診療技術部長に就任しました。平成26年3月に診療技術部長を退いた現在は、人間ドックにおいて胃がん検診にご活躍中です。

先日、クレメントホテル高松にて、受章祝賀会が行われ、川上理事長、真鍋院長はじめ親戚である大林家の皆様と診療技術部職員が参加し、お祝いしました。(放射線科 科長 島越 秀尚)

研修医紹介

香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センター、初期研修医の小森雄太と申します。7月から3ヶ月間当院で研修させて頂いています。どうぞよろしくお願ひ致します。



こもり ゆうた
小森 雄太先生

3ヶ月間で大学とは異なるような症例をたくさん経験し、更に広い視点を持ちたいと思っております。

至らない点が多く、ご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、早く戦力になれるよう努力していきますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

あみれ
保育所
だより

初夏の風が庭を駆け抜け水遊びが心地よく感じられる季節になりました。

5月の子どもの日には子ども達の健やかな成長を願ってみんなでお祝いの会食をしました。



医療安全



職員の交通事故について

管理グループ長 かまくら 鎌倉 としお 敏雄、ペッパー君

当院の職員は、パート職員を含めて約400人。通勤は、病院の立地から車を利用する職員が93% バイク2% 残り5%が自転車と徒歩他です。

また、透析患者さんの送迎、訪問診療・看護・リハビリなど業務中に施設車両を使用する頻度多いこの環境の中、職員の交通事故の現状と傾向を調べ、対策を検討しました。

方法

過去3年間、管理グループに提出のあった「事故報告書」をまとめ、いろいろな角度から分析し、傾向と対策を検討しました。

結果

事故件数は、過去3年微増で推移しており、通勤時の事故は出勤時が66% 帰宅時が34%でした。相手車両は大半が車ですが、29年度はなぜか自転車との接触が多く、業務中の事故は72%が自損事故でした。事故現場の最多は、交差点で事故件数の約33%という結果でした。

対策・まとめ

事故の対策として次の4つをあげました。

- ①危険因子を避ける為、事故多発場所を通勤ルートから外す、又はその場所にさしかかった場合は、特に注意する。
- ②事故にあった場合も相手とトラブルにならないようにドライブレコーダを取り付ける・車を買替える時は安全装備車を購入するなど、お金のかかることが、自己防衛をする為に必要と思われる。
- ③最近問題になっているスマートフォン等を使用しながらの「ながら運転」をしない。
- ④曲がり道の先に人がいるかもしれない。見通しの悪い交差点では、車・自転車が出てくるかもしれないこと前提に(危険予知)運転を実施する。

職員にこのような具体的なデータを示し、交通事故に関する、注意喚起を適宜実施していきたいと思います。



MRIにおける全件更衣の実施

放射線科 ひらお 平尾 かずや 和也

目的 MRIは大きな磁石を用いて撮影する為、強力な磁気が発生します。カイロやヘアピンなどを持ち込むと画像への影響があり、酸素ボンベやハサミなどを持ち込むと吸着事故の恐れがあり、時計や医療機器などを持ち込むと故障の原因になります。今回は患者さんがMRI室へ持ち込む恐れのある金属物等について検討しました。

現状 患者さんに口頭で金属が付いている服やヒートテック等を脱ぎ、時計や携帯電話などをロッカーに入れるように指示しますが、クリーニング時に付けるホッチキスの芯や服の装飾など、患者さん自身が気付かない金属が残っていることがあり、ポケットの中身も出し忘れることがありました。

対策 金属が付いている服を着た患者さんにだけ検査着に着替えるように指示していましたが、更衣室に張り紙をし、全件更衣を実施しました。

結果 撮影時に金属があった場合、一度退室して更衣をしてもらい、再度撮影をする為、予定時間が大幅に過ぎることがありました。全件更衣をすることによって、次の患者さんの待ち時間の減少につながりました。



まとめ MRIは放射線被曝がない低侵襲的な検査ではあるが、装置の管理や使用方法を誤ると非常に危険な装置にもなります。これからも安全で安心な検査であるように取り組んでいきたいと思っています。

心臓病教室 のご案内

医師、リハビリスタッフによる『サルコペニア』（加齢や疾患により、筋肉量が減少する、握力や下肢筋・体幹筋など全身の「筋力低下が起こること」又は、歩くスピードが遅くなる、杖や手すりが必要になるなど、「身体機能の低下が起こること」）について学びます。患者さんご家族の方が、新しい知識の学習や心臓病の大事な内容の振り返りを、心疾患委員会スタッフとともにできる場として、皆さんの参加をお待ちしています。

と き：毎月第4金曜日 13:15～14:00
と ころ：3階会議室

腎臓病教室 のご案内

当院では患者さんやご家族の方へ腎臓病について理解して頂く為に、腎臓病教室や個別の指導等を行っています。

腎臓病の状態に合わせた教室を行い、また、個々に病気に不安を感じている・病気のことをもっと知りたい方など関心をお持ちの方には、病気について理解を深めていただくとともに、医師をはじめ各専門スタッフが患者様の治療に寄り添えたらと考えています。

＜腎臓病教室＞

7月28日(土) 慢性腎臓病(CKD 4・5)
大林弘明医師・コメディカル

9月(日時未定) 透析・腹膜透析
若藤広美医師・コメディカル

※日時についてはお問い合わせください。

＜外来個別指導＞

火曜日 午後 14:00～
金曜日 午後 14:00～



※予約制です。受診時に主治医へ声掛けてください。いつでもスタッフに声掛けてください。

糖尿病教室 のご案内

糖尿病には「し・め・じ」といわれる3大合併症が存在します。

「し」は神経障害、「め」は網膜症、「じ」は腎症です。次回の糖尿病教室では、神経障害と網膜症にスポットをあてていきます。

講義の間にはリハビリスタッフによるミニ体操コーナーも開催しています。参加は自由となっておりますので、糖尿病に興味のある方はどうぞお気軽にお立ち寄りください。

講義の間にはリハビリスタッフによるミニ体操コーナーも開催しています。参加は自由となっておりますので、糖尿病に興味のある方はどうぞお気軽にお立ち寄りください。

と き：7月20日(金) 13:00～14:00
と ころ：3階会議室

1. フットケア～あなたの足は泣いていませんか?～ 看護師
ミニ体操コーナー リハビリスタッフ
2. 糖尿病網膜症について 眼科スタッフ

●今年度の予定

9月21日、11月16日、来年1月18日、3月15日

※詳細は病院内に案内ポスターを掲示していますのでご覧ください。



パプリカを食べて 夏バテを防ごう



管理栄養士
白井 菜奈

みなさんは、パプリカとピーマンの違いをご存知ですか?パプリカはピーマンと同じく6～9月頃に収穫されますが、収穫するときの状態が異なります。ピーマンは未熟な状態で収穫されるのに対し、パプリカは熟しきった状態で収穫されています。ピーマンと比べるとパプリカはサイズが少し大きく、果肉も厚いですよね。栄養面では、パプリカはピーマンよりもβカロテン、ビタミンC、ビタミンEが多く含まれます。これらにより、老化や動脈硬化を防いだり、疲労を回復する効果が期待できます。パプリカは彩りが良く、苦味がほとんどないのでカレーやシチューに入れたり、サラダやマリネ、きんぴらとして食事に加えてみて下さいね。
※透析患者さんなどカリウム制限のため控えた方が良いでしょう。主治医または栄養士にご相談ください。

声
こえ

Feed back
フィードバック

御意見箱に寄せられた皆様方のご意見と、病院長からの返答を抜粋で記載します。

Q 4階病棟の皆様、本当に気持ちよく療養生活を送れ、ありがとうございました。何度か入院を経験していますが、こんなに快適でスタッフの方々の優しさを感じたのは初めてです。また、植物好きですので、屋上庭園が良い気分転換の場所になり、ありがたかったです。

A このお言葉に恥じぬよう、より一層患者さんが安心して療養していただけるように努力してまいります。

Q スタッフの人で挨拶ができない人がいます。先輩と一緒にいても先輩は挨拶するのに、その人は知らんぷりです。他のスタッフの人や、先生も素晴らしいのに残念です。

A 今後このようなことのないよう、全職員に周知徹底いたします。貴重なご意見をありがとうございました。

Q 食事が「魚」中心です。もう少し工夫していただければありがたいです。

A 豆腐や卵料理を増やす等の対応させていただきます。魚料理の頻度：30年3月(27%)→5月(18%)

おめでとう

- 認定臨床科学・免疫化学精度保証管理検査技師 宮川 朱美 (検査科)
- 腎臓病療法指導士 蓮井 三智代 (薬剤科)
- 腎臓病療養指導士 渡邊 美恵子 (栄養科)

診療実績	H30年		
	3月	4月	5月
外来患者数	11929人	10999人	11682人
新入院患者数	206人	201人	211人
退院患者数	216人	204人	207人
地域医療支援病院紹介率	30.4%	30.8%	25.4%
救急車搬入件数	43件	33件	27件
救急車搬入後の入院数	23人	23人	13人
手術件数	62件	51件	41件

編集
後記

7月7日に当院は、透析50周年を迎えます。長年透析一筋だった大林誠一先生と迎えられなかったことが残念です。

外来会計前に、透析50周年特別展示があります。ぜひご覧ください。

これからも誠一先生の透析に対する思いを受け継いで、よりよい医療の提供に努めていきたいと思っております。(S)